

## 本校コミスク活動への大きな期待

先週金曜日に、第4回学校運営協議会を開催したので概要をお知らせします。

今回の熟議テーマは、①学校評価（保護者アンケート結果）と②学校教育目標の設定についてでした。

①についての熟議の中で、平田さんから次のような発言がありました。

「地域の見守り活動をしている方が参観して、「1年生や6年生の掃除の様子を見て、すごい、びっくりした。中学校にも行ってみたい。」と、言われていた。

平田さんは、「自分はこの風景は見慣れているが、この話を聞いて、もっと学校の様子を地域の方に公開し、様子を広めてもらいたいと思った。是非、検討してみてください。」と、熱く話されました。

また、その他にも、  
「今、地域では、次期地域計画を策定しているが、各部会で、地域活動を小学校・子どもたちと一緒に行って楽しい吉敷づくりをしたいという声が上がってきている。PTAの皆さんも一緒になった活動がさらに広がると良い。地域も支援していきたい。」（交流センター宗村さん）

「小学校アンケートの保護者賛同率が全体的に中学校より1ポイント（2割程度）高い。素晴らしい。中学もさらに頑張りたい。」（鴻南中山崎校長）

と、保護者アンケート同様に本年度の取組への肯定的な意見が多く寄せられました。

その一方で、子どもたちのけんか等について意見が出されました。現在の本校の状況については、「けんか等は多くはないが、意地悪等、陰にこもる行為があり、指導に力を入れている。」と担当から回答しました。

学校評価については、まだまだ「よく分からない」という数値が多くあることから、一層の情報公開、開かれた学校づくりを進

める必要性があると強く感じています。

②学校教育目標の設定については、時間がなく熟議は出来ませんでした。改訂の趣旨説明と本校3部会から出された以下の第1次案を説明しました。

「ふるさと吉敷を愛し、進んで学び、人と学び、あたたかい言葉で支え合う、心身共にたくましい児童を地域とともに育成する。」

知徳体それぞれの1次案は、各部会代表の原田、菊川、平山先生が、その文言に込められた職員のメッセージは十分に伝わったと思います。

今後、さらに校内でも協議を重ね、私たちがこれから力を入れていくべき方向性を共有できるようにしていきましょう。

最後に、山口市の長尾コミスクコンダクターから、以下の指導がありました。

①山口市のコミスクの取組はまだまだ進んでいるとは言えない。特に大規模校におけるコミスクの推進は難しい。小さな取組から進めてほしい。

②小学生でもできる地域貢献の取組を進めてほしい。

③いじめ問題への対応・未然防止の取組は小中で連携して進めてほしい。

④本校の取組は進みつつある。どんどん情報発信をして市のモデル校となることを期待している。

